

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	69	—	事業名	放課後子ども教室事業	担当部課	福祉部子育て支援課
------	----	---	-----	------------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える	款	9	教育費
		施策の進め方	3	学習機会の提供	項	4	社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	1	社会教育総務費
		政策分類	4	地域一丸で、子育て支援を充実させる	大事業	8	放課後子ども教室事業
	その他(関係法令、要綱等)		長久手市放課後子ども教室推進事業実施要綱				
事業開始の背景、経緯等		地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得て、放課後等に全ての子どもを対象とした学習支援や多様なプログラムを実施する。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 各教室ともに定員最大60人で、給食開始日から3月末までの期間で、授業終了後から午後4時50分の間で開室。体験プログラムとして、ボランティアの講師を招いて、将棋体験、茶道体験、絵手紙体験、指導員による遊び体験などの事業を実施。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 放課後子ども教室登録者(西小学校、南小学校及び東小学校)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 西、南及び東小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。					
	事業を構成する事務事業	① 放課後子ども教室運営事業	② 放課後子ども教室整備事業	③	④	⑤	⑥

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		9,098	11,873	12,941
決算					8,123	10,864	12,225	
人件費(B)	千円	決算		4,902	3,284	4,719		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		13,025	14,148	16,944		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 放課後子ども教室加入希望者の受入れ割合	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	92	75.5	62.7	75.2	
	B		目標					
実績								
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A (放課後子ども教室においての) 参加児童数/申込者数

B

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町: 瀬戸市、日進市、豊明市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 放課後子ども教室の申込者数増加のため、登録待ちの児童が発生している。このため、毎日の利用状況により、定員を超えての受入れを行っている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後も、児童数の増加が続く中、放課後子ども教室に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 「長久手市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することを目標としている。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 児童クラブ及び学童保育所、放課後子ども教室とは運営の形態として類似性があり、保護者の就労状況やニーズも時代とともに変化してきているものと認識しており、これらの事業の新たな形態について、次期総合計画や子ども子育て支援事業計画を策定する中で検討していく必要があると考えている。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		放課後子ども教室事業									
番号	①	事務事業名	放課後子ども教室運営事業	款	9	項	4	目	1	大事業	8	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成21年度	終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	西小学校及び南小学校、東小学校の放課後子ども教室登録者に対し、小学校の空き教室を利用して、放課後子ども教室を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		9,098	11,873	12,494	13,699
		決算		8,123	10,864	11,781	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 放課後子ども教室指導者賃金						9,956	千円
② 消耗品費						1,095	千円
③ 通信運搬費						277	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	%				
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
放課後子ども教室登録者数	人	目標	100	120	180	180	180
		実績	100	140	204	200	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
<延べ参加児童数>							
西小：4,097人（220日開室）							
南小：4,395人（229日開室）							
東小：5,297人（219日開室）							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

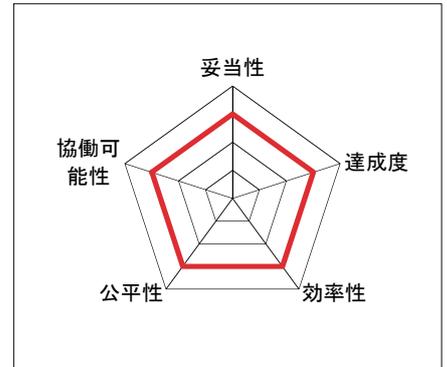
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
児童クラブとの一体型については、南小学校（平成30年度）と北小学校（平成31年度）において、実現を目指す。放課後子ども教室未開設の長久手小と市が洞小については、学校運営に支障がない範囲での運営方法について教育委員会と協議していく。
(何をどのような状態に改善したのか)
放課後子ども教室利用者（保護者、児童）に対してアンケートを実施することにより、利用者のニーズを把握し、運営方法の検討材料にすることができた。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
前年度から引き続き外部講師による体験プログラムを実施しているが、体験プログラムがない日でも、指導員やコーディネーターによる独自の体験プログラムを実施するようになり、子どもたちに多くの体験の場を提供している。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、目標年度の平成31年度までに引き続き事業を進める必要がある。

## 7. 今後の方向性

拡充

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
児童クラブと放課後子ども教室との一体型の実施については、南小学校（平成30年1月～）と北小学校（平成31年4月～）において、実現を目指す。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名		放課後子ども教室事業												
番号	②	事務事業名	放課後子ども教室整備事業		款	9	項	4	目	1	大事業	8	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成21年度			終了（予定）年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 放課後子ども教室を適切に運営するため、環境の整備を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後子ども教室の環境を整備する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算				447	0
		決算				444	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 放課後子ども教室整備工事						444	千円
②							千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
環境整備の必要箇所数	箇所	目標				3	2
		実績				3	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
西小、南小、東小学校放課後子ども教室に光回線の導入工事を実施し、インターネット環境を整備した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

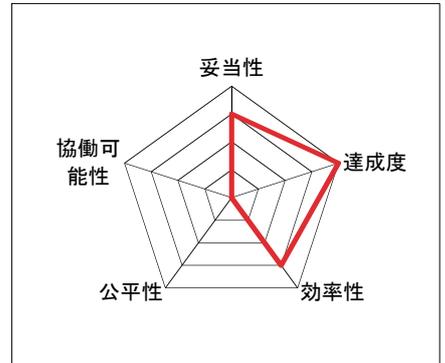
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。
---

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか) 西小、南小、東小学校放課後子ども教室に光回線の導入工事を実施し、インターネット環境を整備した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	3
公平性	—
協働可能性	—



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 西小、南小、東小学校放課後子ども教室において、インターネット環境を整備し、市役所と電子メールにて文章連絡等を行うことにより、即時に情報共有ができるようになった。
---

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 放課後子ども教室は学校敷地内で運営しているため、整備工事等を実施するには、実施時期や安全の確保等、学校との調整が必要である。
--

## 7. 今後の方向性

**休・廃止**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 児童クラブとの一体型については、南小学校（平成30年度）と北小学校（平成31年度）において、実現を目指す。 ※児童クラブ整備費に一体で予算計上 放課後子ども教室未開設の長久手小と市が洞小については、学校運営に支障がない範囲での運営方法について教育委員会と協議していくが、運営開始に向けて、環境整備が必要になると見込まれる。
---